科目名 Course Name	開講年次	開講学期	曜日・時限
相談援助演習Ⅱ Seminar of Social Work Ⅱ	1年	後期	別途、時間割参照

単位数	授業の形態	授業の性格	履修上の制限
1単位	演習	選択 （社会福祉フィールド以外、履修不可）	社会福祉士国家資格取得のための必修科目

当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目

社会福祉士国家資格取得に必要な科目や社会福祉学に関連する科目

同時に履修しておくことが望まれる科目

社会福祉士国家資格取得に必要な科目

担当者に関する情報

氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
幡山久美子	本館1階 非常勤講師室	木曜日 8：50～16：00	授業中に指示します

授業の概要

相談援助演習Ⅰで学習したことを踏まえ、利用者主体の援助を実践するためのコミュニケーションのあり方と、自分自身の振り返りを丁寧に行うことを習得する。

授業の目標

①相談援助場面での効果的なコミュニケーションの技法を習得することができるようになる。
②他者理解に必要な「承認」する視点を習得することができるようになる。
③自分自身のかかわりについて、検討・考察することができるようになる。
④客観的事実と主観的な事実を分けた記録を作成することができるようになる。

授業の方法

演習。
ロールプレイング、グループディスカッション、相互評価等を通して相談援助技術の習得を図る。
ほぼ毎回小レポートを作成し、その時間内に提出する。

学習の成果（学習成果）

この授業を履修すると、
①他者に話を促す聴き方を学び、その技法を習得し、実践することができる。
②行動と気持ちのつながりを検証し、気持ちの切り換えにつなげていく過程を習得することができる。
③自分自身のコミュニケーションのパターンを知り、対人援助場面で留意すべき態度や姿勢を理解することができる。
④その場にいない人も理解できるような記録を作成することができる。

授業のスケジュールと内容

第1回目	ガイダンス・授業概要の説明
第2回目	傾聴していないこととは
第3回目	共感しながら質問する方法
第4回目	相手を理解するための「承認」の視点
第5回目	自分の考え方のクセを知る方法
第6回目	行動と気持ちのつながりについて考える
第7回目	問題の解決方法を探る
第8回目	気持ちを伝える方法
第9回目	気持ちを切り替える方法 ＊レポート課題：第13回目の授業時に提出
第10回目	その場にいない人に伝えること（1） 二人の会話 ＊次回の項目について、事前に作成してくること
第11回目	その場にいない人に伝えること（2） 10分間の観察記録 ＊次回の項目について、事前に作成してくること
第12回目	その場にいない人に伝えること（3） 自分のある一日
第13回目	援助的コミュニケーションの実践
第14回目	ロールプレイングと記録作成
第15回目	まとめと振り返り

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	積極的に課題に取り組むこと。グループディスカッションへの積極的参加。授業時間内に課せられる小レポートは課題に即したもので、時間内に提出すること。宿題を忘れずに取り組むこと。
レポート	60%	課題に即した内容であること。自分自身の振り返りがなされていること。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

教科書：山田容、『ワークブック社会福祉援助技術演習Ⅰ 対人援助の基礎』、ミネルヴァ書房
大野裕・田島美幸、『心のスキルアップトレーニング』

履修上の留意点・ルール

目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。
遅刻厳禁。居眠り・私語・携帯端末の不適切な使用について厳重に注意する。飲食禁止。